

逗子市総合計画

進行管理表

第 5 節

柱	第5節 新しい地域の姿を示す市民主権のまち							
めざすべきまちの姿	市民は、市政の主権者であり、まちづくりに参加する権利を有します。 わたしたちは、主権者である市民として、互いに尊重し合いながら、その人のもつ個性や能力を十分に発揮できる地域社会をつくっていきます。また、グローバル化した社会の中で、地域や国を越えて、世界に貢献していきます。 わたしたちは、地域社会、さらには世界の一員として主体的に行動する市民主権のまちをつくりまします。							
目標	新しい地域の姿を示す市民主権のまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	64.1%	66.7%(65.8%)	68.5%(67.5%)	(69.2%)	(70.9%)	(72.5%)	(74.1%)	74.1%
進捗状況評価								
A：順調である								

取り組みの方向	1 市民自治のまち
逗子のまちづくりを担っているのは、市民一人ひとりです。自分のことだけでなく、他人や地域、自然のことを自分のことのように考え、行動することができる市民の姿が望まれます。 また、逗子に住み、働き、学び、交わるあらゆる主体が、地域の一員として、考え、行動し、それぞれの関係の中で互いの理解を深め、担い合い支え合うことにより、心豊かな市民自治のまちを実現します。	

具体的施策	① 住民による自治活動の推進							
KPI	住民自治協議会が組織され、その活動が防災防犯、環境や福祉など複数の領域で実施されている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
5 小学校区のうち 4 小学校区で組織されている	逗子小学校区内の自治会へ働きかけ	逗子小学校区内の自治会へ働きかけ	逗子小学校区内の自治会へ働きかけ					住民自治協議会が組織され、その活動が防災防犯、環境や福祉など複数の領域で実施されている。
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 逗子小学校区の立ち上げが課題。								
今後の対応								
・すでに立ち上がっている4小学校区は引き続き支援を行う。 ・逗子小学校区については、広域であり、海岸、中心市街地、住宅地が混在していることから、小学校区単位でまとめることが難しいと考えている。小学校区の単位でなくても柔軟に対応することを視野に入れ、自治会・町内会の意向を確認しながら働きかけを行っていく。								

主な取り組み

取り組み①	住民自治協議会の支援				
説明	・ 市民が自ら課題を見つけ解決する地域コミュニティの醸成を図るため、住民自治協議会に対して財政支援、活動場所の提供その他必要な支援を行う。 ・ 未設立の地域に対し、住民自治協議会の設立を支援する。				
2025年度 実施内容	地域づくり交付金の交付、住民協連絡会の実施、地域担当職員の派遣を行った。				
【参考】予算事業名	地域自治システム推進事業	【参考】実績額	2,507,697円	担当課	市民協働課
取り組み②	ふれあい活動の推進				
説明	・ 互いの顔が見え、交流でき、歩いて行ける範囲において行われる「ふれあい活動」を推進する。				
2025年度 実施内容	空き家を活用した池子やまとしょしつにかかる固定資産税分を交付した。				
【参考】予算事業名	コミュニティ活動推進事業	【参考】実績額	1,154,300円	担当課	市民協働課

具体的施策	② 市民活動の推進
-------	-----------

KPI	市内で活動している市民団体が500団体になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
407団体	424団体	390団体	432団体					500団体

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
・市民活動の拠点となる市民交流センターにおいて、窓口支援の強化や施設修繕等による環境整備に取り組み、登録団体数は増加傾向にある。
今後の対応
・市民交流センターと連携し、市民団体の抱える諸問題（世代交代など）を聞き取り、解決策を提案するなど、市民活動の活性化を図る。

主な取り組み

取り組み①	市民協働推進事業の推進							
説明	・市民協働を推進するための制度の運用や市民活動を円滑に行うための支援を行う。							
2025年度 実施内容	・市民が安心して市民活動等に取り組めるよう、市民活動補償制度等を実施した。							
【参考】予算事業名	市民協働推進事業				【参考】実績額	249,326円	担当課	市民協働課

取り組み②	市民活動の場の確保							
説明	・市民交流センターの運営や市民活動のコーディネートを行う。							
2025年度 実施内容	・市民交流センターにて市民団体のアンケート調査等、コーディネートを行った。							
【参考】予算事業名	市民交流センター維持管理事業				【参考】実績額	62,509,666円	担当課	市民協働課

取り組み③	逗子市市民活動・生涯学習情報サイトの充実							
説明	・ポータルサイトの運営を行う。							
2025年度 実施内容	・ポータルサイト「ナニスル」の運営を行った。							
【参考】予算事業名	市民交流センター維持管理事業				【参考】実績額	62,509,666円	担当課	市民協働課

具体的施策	③ 行政活動に対する市民参加の推進							
KPI	パブリックコメントにおいて、1 案件当たりの意見提出数の平均が20件を超えている。							
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
23件（2021年度） 8.8件（2018年度～ 2020年度平均）	10.4件	13.0件	11.9件					21件以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 関連所管に市民参加制度審査会への参加説明、パブコメなどHP周知、結果の公表を依頼している。								
今後の対応								
・ 関連所管に市民参加制度審査会への参加説明、パブコメなどHP周知、結果の公表を依頼している。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	市民参加制度の運用							
説明	・ より効果的な市民参加が図られるよう、市民参加の手法や時期を的確に選択して市民参加制度を運用するとともに、制度の見直しを行う。							
2025年度 実施内容	・ 市民参加制度審査会を2 回実施した。							
【参考】 予算事業名	市民参加制度審査会経費				【参考】 実績額	167,050円	担当課	市民協働課

取り組みの方向	2 誰もが尊重され、自由で平等なまち
その人の持つ個性、人格そのものや能力が尊重され、それらが十分に発揮できるまちづくりを推進し、誰もが、性別、国籍、障がい等によって差別されることなく人権が尊重され、自由で平等な参画が保障されているまちをめざします。	

具体的施策	① 人権啓発活動の推進
-------	-------------

KPI	「逗子市は、人権が尊重されているまちだ。」と感じる市民の割合が70%を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	69.70%	70.60%	76.10%					70%超

進捗状況評価								
A：順調である								

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

- ・ずし人権を尊重するまちづくり指針（逗子市人権施策推進指針）を策定した。
- ・特設人権相談について、LINE等により積極的に情報発信をした。

今後の対応

- ・ずし人権を尊重するまちづくり指針（逗子市人権施策推進指針）を周知し、人権意識の更なる向上を図る。
- ・ホームページやSNSなどを活用し、引き続き積極的な情報発信に努める。

主な取り組み

取り組み①	人権意識向上のための啓発活動				
説明	・ 人権意識の向上を目的とした講座や講演会を実施する。				
2025年度 実施内容	・ 人権メッセージパネル展（同時開催：特定失踪者パネル展示）を開催した。（2025年12月2日～10日） ・ 人権の花運動を5小学校で実施した。 ・ 市民まつりにて啓発活動を行った。				
【参考】 予算事業名	人権推進事業	【参考】 実績額	1,820,666円	担当課	市民協働課

取り組み②	人権に関する相談等への対応				
説明	・人権に関する相談や苦情について、関係機関へつなぐ等適切な対応を図る。				
2025年度 実施内容	特設人権相談を実施した。（2025年6月2日、12月8日）				
【参考】予算事業名	人権推進事業	【参考】実績額	1,820,666円	担当課	市民協働課

取り組み③	人権指針の検討				
説明	・人権が尊重されるまちづくりに向けて、人権指針の策定について検討する。				
2025年度 実施内容	人権に関する講演会や関係機関との会議等において、人権指針策定に係る周知を行った。				
【参考】予算事業名	人権推進事業	【参考】実績額	1,820,666円	担当課	市民協働課

具体的施策	② 男女平等参画の推進
-------	-------------

KPI	「男女の地位が平等」と感じる人の割合が50%を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
15.8%	18.90%	22.20%	20.50%					50%超

進捗状況評価	
C：順調であるとみなせない	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進するための啓発事業として、職員課と合同で職員研修を実施した。	
今後の対応	
ホームページやSNSなどを通じて、引き続き積極的な啓発活動に取り組む。	

主な取り組み

取り組み①	ずし男女平等参画プラン2030の推進							
説明	・男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進するための意識を高める啓発活動や、市の審議会や各種委員会における男女数の比率の偏りをなくすことなどから、政策や方針決定の場における男女平等参画の推進を図る。							
2025年度 実施内容	・ずし男女平等参画プラン推進会議を4回開催した。 ・啓発事業「親子で学ぼう！子どもの護身法」（参加者26人）、デートDV予防ワークショップ（参加212人）、「仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座」（参加者24人）、職員研修（動画視聴）「男女平等参画及び多様性を尊重する意識を高めるための研修」（参加者485人）を実施した。							
【参考】予算事業名	男女平等参画プラン推進事業				【参考】実績額	4,561,587円	担当課	市民協働課
取り組み②	相談体制の充実							
説明	・ドメスティック・バイオレンス（DV）等の暴力の未然防止・根絶のため、啓発活動を行うほか、関係機関と連携をし、相談体制の充実を図る。							
2025年度 実施内容	女性相談を実施した。（相談件数290件）							
【参考】予算事業名	男女平等参画プラン推進事業				【参考】実績額	4,561,587円	担当課	市民協働課

取り組みの方向	3 世界とつながり、平和に貢献するまち
ICTの進化や移動時間の短縮化など、科学技術のめざましい発展を背景に、世界との距離は加速度的に近くなっています。 市民の誰もが国際性を身につけ、池子米軍家族と培ってきた日米親善交流を礎に、さらに多くの世界の人々や都市との交流、協力を進め、逗子から世界に向けて、世界の恒久平和や調和ある発展についてメッセージを発し、貢献するまちをめざします。	

具体的施策	① 国際交流・国際理解の推進							
KPI	フェアトレードの認知度が50%を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
39.4%	45.0%	44.6%	44.50%					50%超
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 逗子フェアトレードタウンの会と共催し、イベント等を協働で行っている。認知度については2025年度は0.1ポイント減少しているが、商品を購入したことがあるについては2025年度は4.1ポイント増加している。年次計画上は概ね順調であると考えている。								
今後の対応								
・ 引き続き逗子フェアトレードタウンの会と共催し、さらに市民に国際理解の醸成を図るため、市民の国際性を高めるテーマを取り扱うなど工夫し、事業を継続していく。								

主な取り組み

取り組み①	国際交流推進事業の推進							
説明	・ 市民の国際感覚の醸成と国際理解の増進、地域の国際化の推進を図るため、講座等を開催する。 ・ 外国籍市民との交流の機会を設ける。							
2025年度 実施内容	・ 交流センターやコミュニティセンターなど多文化共生、外国人の相談窓口など国際理解の推進、地域の国際化の推進に関する情報提供・啓発を実施。							
【参考】予算事業名	国際交流推進事業				【参考】実績額	316,097円	担当課	市民協働課
取り組み②	フェアトレードタウンの取り組みの支援							
説明	・ フェアトレードタウンとして、国際理解を進めるための講座やイベントなどを市民団体と協力して開催する。							
2025年度 実施内容	・ フェアトレード/ローカルランチキャンペーン、フェアトレードフォーラム、フェアトレード連続講座を実施。							
【参考】予算事業名	国際交流推進事業				【参考】実績額	316,097円	担当課	市民協働課

具体的施策	② 非核平和の推進							
KPI	平和イベントへの参加者数が3,000人を超えている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
約710人	約1,030人	約1,900人	約2,300人					3,001人以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ ずし平和デー実行委員会と共催し、イベント等を協働で行っている。								
今後の対応								
・ 引き続き、ずし平和デー実行委員会と協働し、これからの世代につないでいくために、世代間交流が図れるイベントを実施するなど工夫し、事業を継続していく。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	非核平和推進事業の推進							
説明	・ 市民が非核平和について考える機会を提供するため、「ずし平和デー」を市民団体との共催により開催する。							
2025年度 実施内容	・ 2025ずし平和デーを実施。例年企画（パネル展示、紙芝居、ワークショップなど）に加え、戦後80年特別企画として、戦争体験者や被爆者の講演会を開催した。							
【参考】予算事業名	非核平和推進事業				【参考】実績額	227,144円	担当課	市民協働課